

I. 要 旨

- 回答した 79 の中央競技団体の 9 割近い 69 団体が競技者ないしチームの登録制度を有していた。
- 個人登録者が最も多いのはサッカー（88 万人）で、以下、バスケットボール（61 万人）、ソフトテニス（46 万人）、バレーボール（42 万人）、卓球（30 万人）の順であった。
- 79 団体の役職員の合計は 2,286 人であり、役員数が 1,551 人、役員を除く職員数が 735 人であった。役職員数は 0 人の団体から 165 人の団体まで幅広く分布していた。
- 職員（正規雇用者、契約／嘱託職員、出向）のほぼ半数に当該種目の競技経験があり、その半数が全国大会以上の競技実績をもっていた。また、常勤役員の 8 割以上に当該種目の競技経験があり、その 3/4 が全国大会以上の競技実績をもっていた。
- 団体の予算（収入）は、72 団体の合計で 464 億 5,600 万円であり、1 団体平均 6 億 4,500 万円、中央値は 2 億 1,300 万円であった。
- 団体の予算の収入構成をみると、事業収入と競技者・団体からの収入の割合が高く、補助金・助成金や寄付金の割合は低かった。総収入が多い団体ほど、事業収入の割合が高い傾向がみられた。